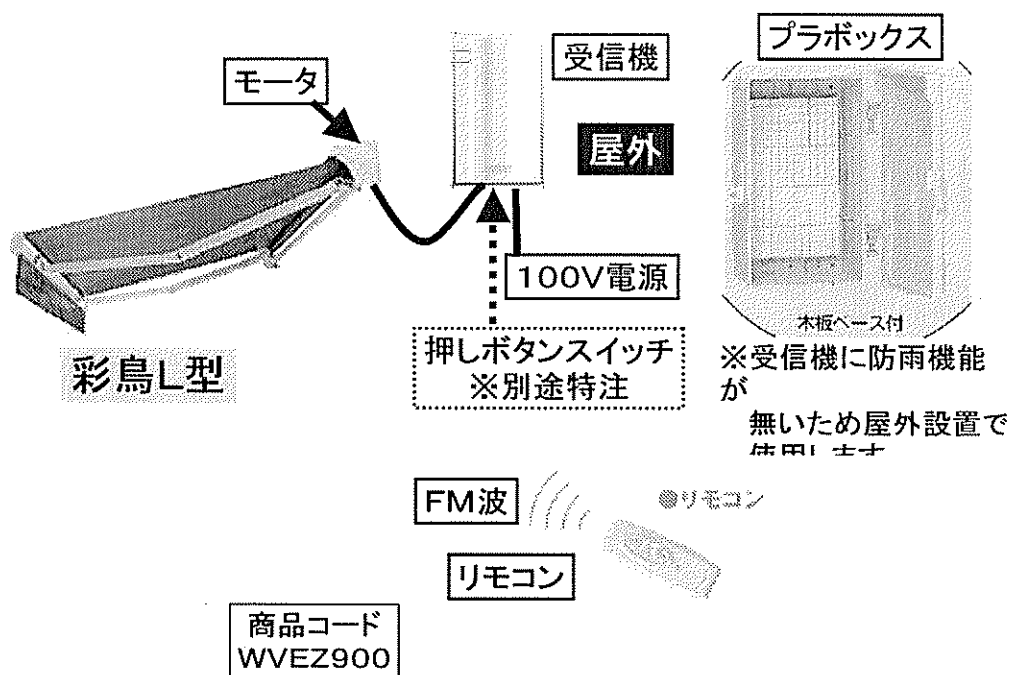


## WVEZ900 リモコンセット 設置図



※受信機の設置場所は 屋外・屋内を問いません。  
但し、屋外設置の場合は プラボックスに入れてください(防雨のため)

# オペレータレシーバRTS 426 施工のしおり

## バスラインレシーバRTS 426

ISM-0009

### 1. 準備

#### オペレータレシーバRTS 426

オペレータレシーバRTS 426には直接オペレータを接続します。  
 (※バスラインに接続しないよう注意してください)  
 作業前に接続するオペレータの上限、下限リミット調整を行ってください。(テスト用コード付スイッチPTS-0179を使用すると便利です。)

#### バスラインレシーバRTS 426

バスラインレシーバRTS 426には他のソムフィコントローラを接続します。(オペレータに直接つないでも動作しません。)  
 作業前に、接続先のソムフィコントローラが正常に動作がするかご確認ください。

### 2. 取り付け

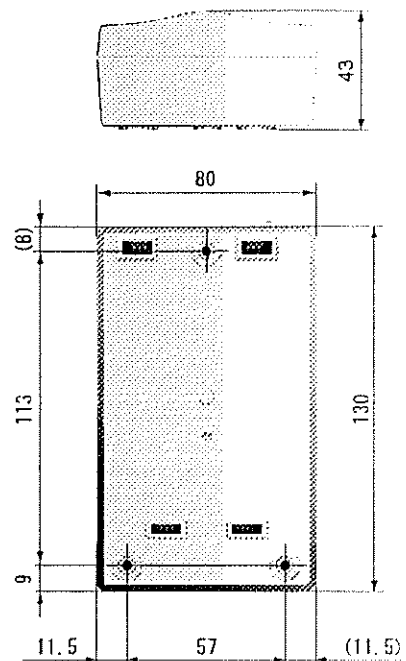
ボックスを3本のネジ(呼び径4mm)で固定します。高温多湿な場所、雨水等が直接かかる場所、及び振動が直接伝わる場所には設置しないでください。

#### △ 警告

受信機の次製品への取付け、電源、オペレータのケーブルの接続およびヒューズの交換等の作業を行う時は、必ず電源を切ってから行ってください。

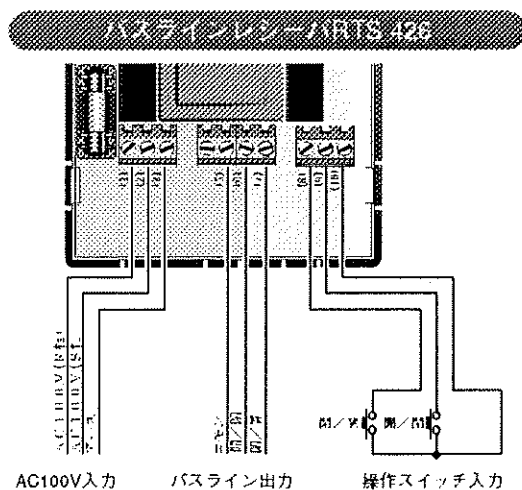
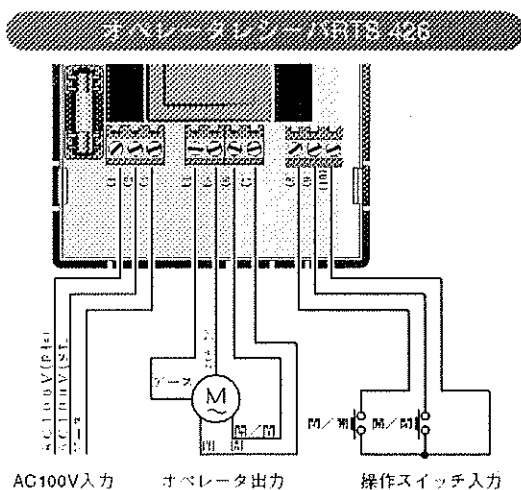
#### △ 注意

- ① 複数の受信機を設置する場合、受信機間を1.5m以上離してください。
- ② 受信機は屋内設置用です。屋外に設置する場合は受信機をIP44以上のケースに収めてください。
- ③ 受信機の中にリード線を伝わって水が浸入しないように、リード線をU字にする等、注意を払って設置してください。
- ④ 受信機を金属製のケースに収めたり、鉄筋などの遮蔽物の近くに設置しないでください。動作距離が短くなり、且つ不安定になります。



単位[mm]

# 3. 配線



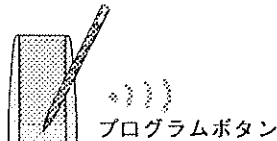
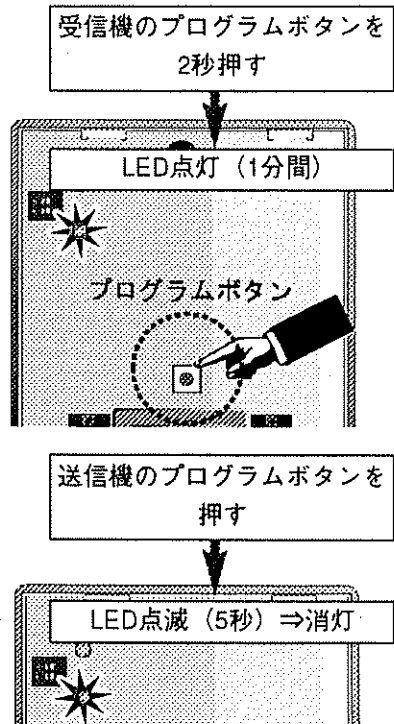
**△ 注意**  
 オペレータレシーバ RTS 426の  
 オペレータ出力をバスラインに接  
 続しないでください。

バスライン出力はソムフィ製コントロー  
 ーに接続します。  
 ([4] 端子は使用しません)

# 4. 設定

## 4-1. 送信機の登録

- 1) 受信機のプログラムボタンを約2秒押します。  
 受信機の赤色LEDランプが点灯し、送信機が「登録待ち」の状態であることを示します。  
 \*送信機が「登録待ち」の状態は1分間で解除され、LEDランプが消灯します。  
 \*送信機が「登録待ち」の状態で、再度受信機のプログラムボタンを押すと「登録待ち」の状態が解除されLEDランプが消灯します。
- 2) 送信機のプログラムボタンを押します。  
 受信機の赤色LEDランプが点滅し、送信機が登録されたことを示します。  
 \*LEDランプは5秒間点滅した後に消灯します。



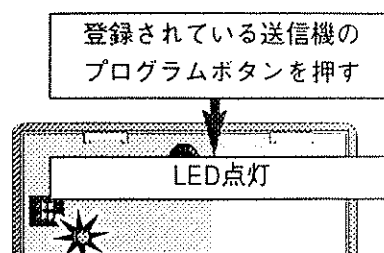
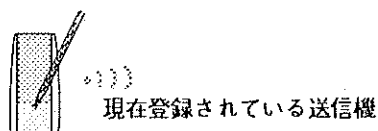
- ・上記1)、2)の手順を繰り返すことで1台の受信機に最大12台の送信機を登録できます。
- ・1台の送信機で複数の受信機を一括制御したい場合、すべての受信機に対し1)の操作を行い、「登録待ち」の状態とした後に2)の操作を行うことで、すべての受信機に一括して送信機が登録されます。
- \*電波が届く範囲であれば、受信機の台数に制限はありません。

## 4-2. 送信機の追加登録

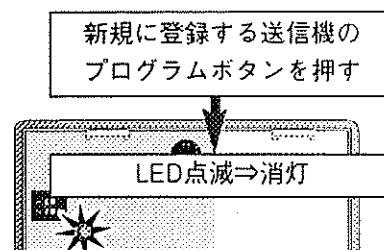
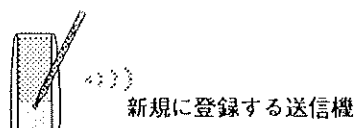
受信機を容易に手の届かない場所に設置した場合も、送信機側の操作のみで送信機の追加登録ができます。

\*この場合、受信機に登録済みの送信機が必要です。

- 1) 現在登録されている送信機のプログラムボタンを約2秒押します。  
受信機の赤色LEDランプが点灯し、送信機が「追加登録待ち」の状態であることを示します。  
\*送信機の「追加登録待ち」の状態は、1分間で解除されLEDランプが消灯します。



- 2) 新規に登録する送信機のプログラムボタンを約2秒押します。  
受信機の赤色LEDランプが点滅し、送信機が登録されたことを示します。  
\*LEDランプは5秒間点滅した後に消灯します。

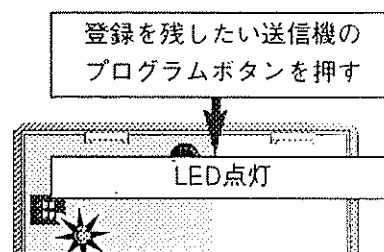
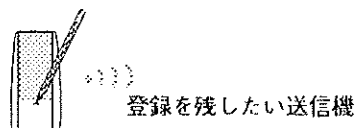


## 4-3. 送信機の登録の削除

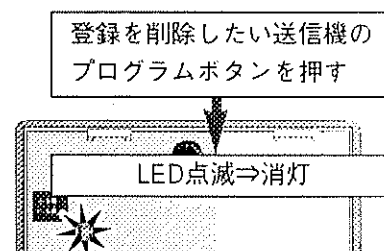
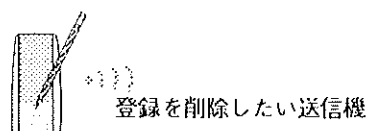
送信機側の操作のみで送信機の削除ができます。

\*ただし受信機に登録されている送信機が1台のみの場合、本項の手順では削除はできません。  
次項、「4-4すべての送信機の登録の削除（オールクリア）」をご参照ください。

- 1) 登録を残したい送信機のプログラムボタンを約2秒押します。  
受信機の赤色LEDランプが点灯し、送信機が「削除待ち」の状態であることを示します。  
\*送信機の「削除待ち」の状態は、1分間で解除されLEDランプが消灯します。



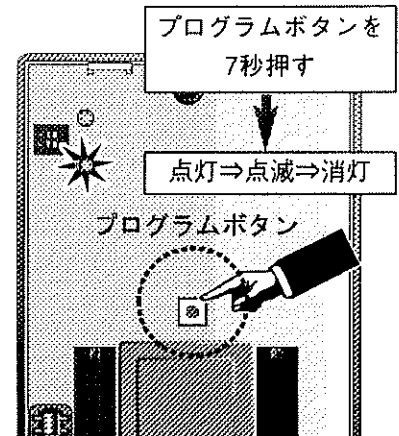
- 2) 登録を削除したい送信機のプログラムボタンを約2秒押します。  
受信機の赤色LEDランプが点滅し、送信機が削除されたことを示します。  
\*LEDランプは5秒間点滅した後に消灯します。



## 4-4. すべての送信機の登録の削除（オールクリア）

受信機に登録されているすべての送信機を一括削除（オールクリア）します。

- 1) 受信機のプログラムボタンを約7秒押します。  
受信機の赤色LEDランプが以下のように切り替わります。  
点灯 → 点滅 → 消灯  
消灯すると、一括削除が完了します。



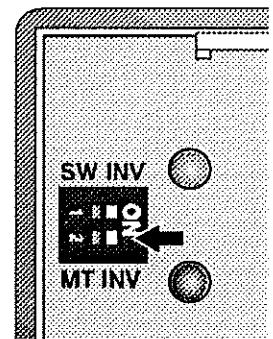
## 4-5. 出力極性（回転方向）変更

接続後に出力極性（回転方向）を変更することができます。

※極性確認、変更は必ず【送信機】→【操作スイッチ】の順で行ってください。

### 送信機

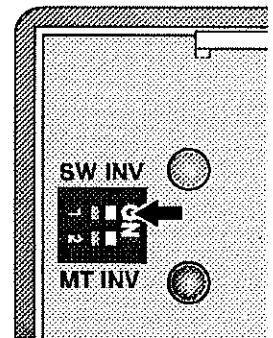
- 1) 送信機のUP▲/DOWN▼ボタンを操作し、出力極性（オペレータの回転方向またはバス出力方向）を確認します。
- 2) 正しく回転する場合は4) 項へ進んでください。
- 3) 送信機に対する極性が逆の場合
  - ①DIPスイッチの2を切り替えてください。  
\*初期状態ではDIPスイッチはOFF（右図の通り数字側）になっています。
  - ②送信機のUP▲/DOWN▼ボタンを操作し、受信機出力の極性が合っていることを確認してください。



送信機 (DIP2)

### 操作スイッチ

- 4) 外付けスイッチのUP▲/DOWN▼ボタンを操作し、受信機出力の極性を確認します。
- 5) 受信機出力の極性が正しい場合  
極性確認、変更作業はこれで完了です。
- 6) 受信機出力の極性が逆の場合
  - ①DIPスイッチの1を切り替えてください。  
\*初期状態ではDIPスイッチはOFF（右図の通り数字側）になっています。
  - ②外付けスイッチのUP▲/DOWN▼ボタンを操作し、受信機出力の極性が合っていることを確認してください。



操作スイッチ (DIP1)

※作業終了後は、DIPスイッチを切り替えないでください。

ソムフィ株式会社

〒222-0033  
横浜市港北区新横浜3-23-3 新横浜東武AKビル  
Tel : (045) - 475 - 0958  
Fax : (045) - 475 - 0922  
http:// www.somfy.co.jp/